

令和2年1月期 第1四半期  
**決算説明資料**

バリューゴルフ  
**VALUE GOLF**

株式会社バリューゴルフ

令和元年6月14日



JPX

東証マザーズ上場

証券コード：3931

令和2年1月期 第1四半期

---

# 経営成績ハイライト

---

# 連結経営成績－損益計算書

令和2年1月期第1四半期は、売上高1,423百万円、営業利益△6百万円での着地となりました。  
トラベル事業への本格参入により、売上高は前年同期比で約2倍に増加しました。

	平成31年1月期 第1四半期	令和2年1月期 第1四半期	増減額	前年同期比 増減率
売上高（千円）	740,702	1,423,914	+683,212	+92.2%
売上原価（千円）	517,527	1,112,402	+594,875	+114.9%
売上総利益（千円）	223,175	311,511	+88,336	+39.6%
販売費及び一般管理費（千円）	217,791	317,826	+100,035	+45.9%
営業利益（千円）	5,384	△6,315	△11,699	—
経常利益（千円）	4,820	△11,004	△15,824	—
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	3,015	△16,814	△19,829	—
1株当たり当期純利益（円）	1.68	△9.38	△11.06	—

# 連結経営成績－セグメント情報

トラベル事業が当社グループの新たな柱として伸長。収益性の改善が課題に。

本格参入したトラベル事業がゴルフ事業と双壁を成す事業へと成長しつつあります。今後は安定的な収益性の確保と事業間シナジーを発揮したサービス提供の拡大を行ってまいります。

	売上高			セグメント利益		
	金額	増減額 (前期比)	前年同期比 増減率	金額	増減額 (前期比)	前年同期比 増減率
ゴルフ事業 (千円)	772,490	+72,235	+10.3%	97,954	9,256	+10.4%
トラベル事業 (千円)	634,833	+622,224	—	△17,492	△16,530	—
その他事業 (千円)	17,180	△11,792	△40.7%	△1,836	△1,302	—

# 第1四半期トピックスーゴルフ事業

1人予約ランド  
ユーザー数

前年同期比  
**121.6%**

サービス開始以来、常にユーザー数の拡大を継続中。今期中の60万人突破を視野に、サービス内容の向上に取り組んでまいります。

1人予約ランド  
予約数

前年同期比  
**117.9%**

「ボール付プラン」、「スタンプラリー」等による競合サービスとの差別化に着手。予約数は堅調に推移いたしました。

ゴルフ用品  
ECサイト  
売上高

前年同期比  
**120.6%**

アメリカからの並行輸入品等の仕入れにより、商品ラインナップを他社と差別化。売上高を増加することができました。

# 第1四半期総括ーゴルフ事業

1人予約ランドが堅調に推移。ECサービス用のOEM商品の開発と「レッスンは受けずに練習だけしたい」というゴルファーからのニーズへの対応に注力。

## 【1人予約ランド】

- ・ 契約ゴルフ場数増加
- ・ 会員数増加

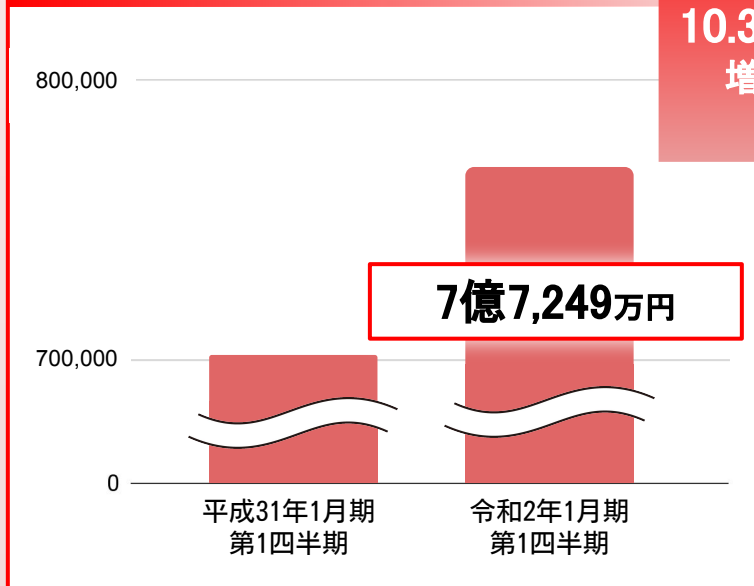
## 【ゴルフ用品販売】

- ・ ECサービスが躍進
- ・ OEM商品の開発

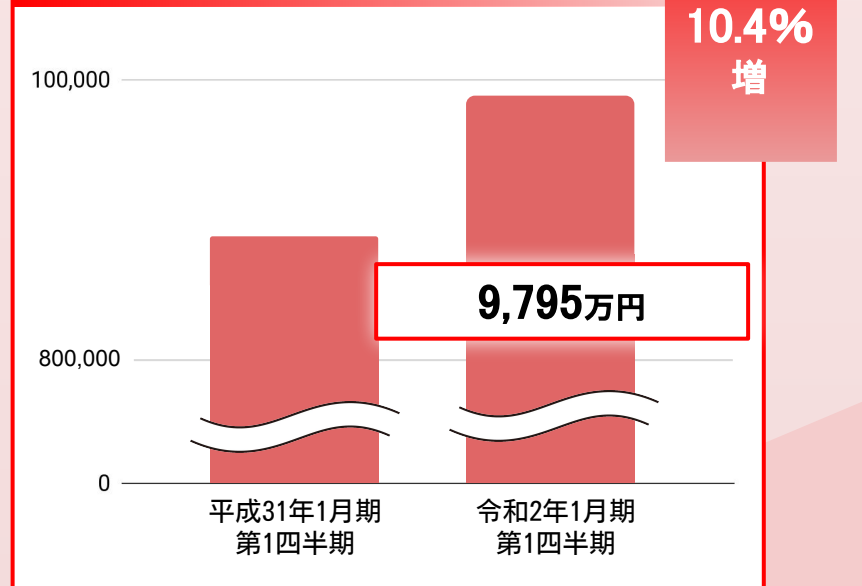
## 【バリューゴルフ大崎】

- ・ 最新シミュレータ導入
- ・ 練習ニーズの発掘

## 売上高



## 営業利益



# 第1四半期トピックスタートラベル事業

ゴルフ事業との  
コラボ

各種  
ゴルフツアーの  
開催

海外VGカップ・1人予約ゴルフ旅  
・VGキャンプ等、当社ならではの  
ゴルフ旅行を催行いたしました。

新商品開発

メディカル事業との  
協働による  
メディカルツーリズム  
販売開始

訪日外国人向け人間ドック等医療  
ツアーの第一弾として、モンゴル  
人向けツアーの販売を開始。企画  
費・販促費等、一時的に費用が増  
加いたしました。

販売費及び  
一般管理費

のれん償却費  
一時コストの増加

(株)日本旅行協会、(株)産経旅行グ  
ループ化によるのれん償却費が増  
加いたしました。  
また、構造改革（リストラ・商品  
群改革）を進めるために一時的な  
コストを投下いたしました。

# 第1四半期総括ートラベル事業

新商品の企画とトライアルを実施。また、販管費削減・支店の見直し等の構造改革を推進。

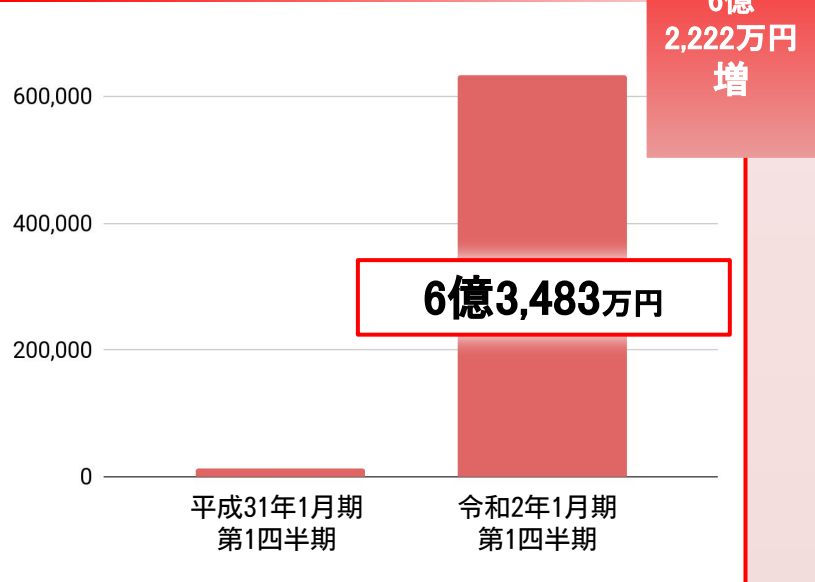
## 【新商品企画・開発】

- ・メディカルツーリズム
- ・在日外国人向け海外ツアー、奥浅草ツアー等の新企画旅行

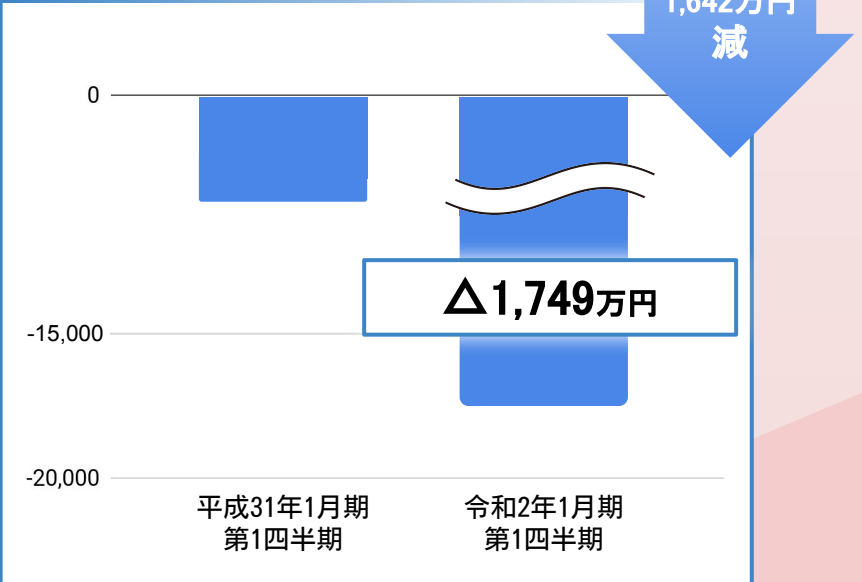
## 【コスト削減に向けて活動】

- ・不採算部門の整理
- ・ITシステム導入による生産性向上  
(第1四半期は一時的にコスト増)

### 売上高



### 営業利益





# 第1四半期トピックスーその他の事業

【広告メディア制作事業】  
売上高

前四半期比  
131.3%

制作拠点の体制変更等により更なる効率化に成功。受注状況も下げ止まり、利益体質になりました。

【メディカル事業】  
サプリメント

「スタブルUC-II」  
販売開始へ

「いつまでも元気にゴルフがしたい」という声に応え、非変性II型コラーゲンを含有したサプリメント「スタブルUC-II」の開発が完了。予定通りに販売開始いたしました。

販売費及び  
一般管理費

固定コスト削減  
販促費は一時的に  
増加

広告メディア制作事業における体制変更等により販売費及び一般管理費の固定コストを削減。一方、サプリ発売に向け、販促費等が一時的に増加しました。

# 第1四半期総括－その他の事業

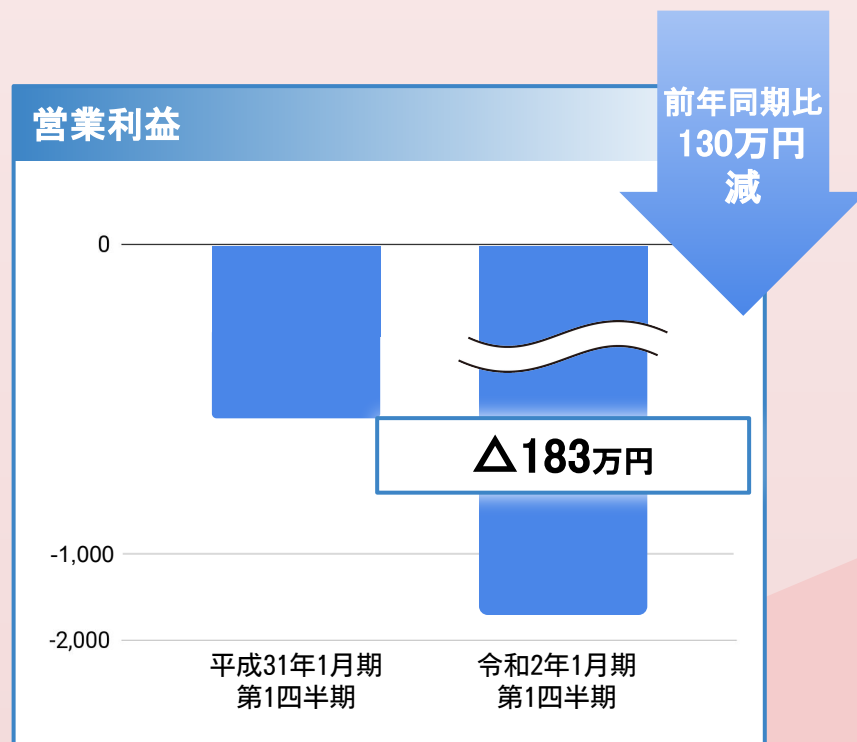
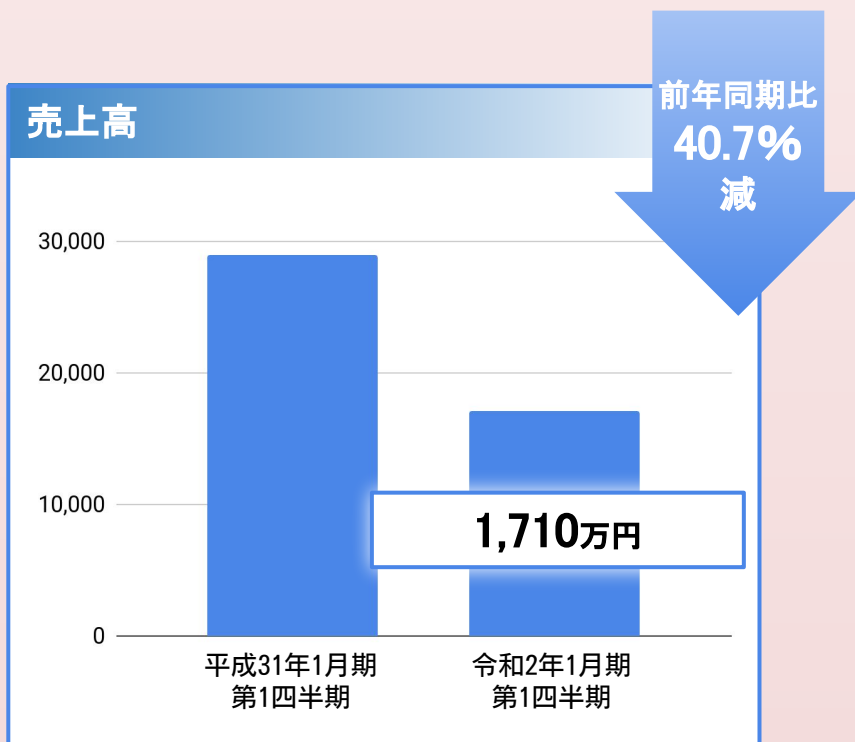
広告制作事業は縮小傾向から安定傾向へ。メディカル事業は出版サービスにて納期ズレ。

## 【広告制作事業】

- ・制作事業を金沢制作センターに集約化
- ・営業活動強化→安定的受注へ

## 【メディカル事業】

- ・サプリメント開発
- ・サプリ販売に向けた販促費、広告費の投入
- ・出版サービスの納期ズレ



# 第1四半期総括

ゴルフ事業で得た利益を、その他の事業へ投資し、企業価値の向上を目指しました。  
トラベル事業へ本格参入し、事業規模が拡大しております。  
各事業とも概ね計画通りに推移しております。

**ゴルフ事業**

**売上**  
**7億7,249万円**

**営業利益**  
**9,795万円**

**トラベル事業**

**売上**  
**6億3,483万円**

**営業損失**  
**1,749万円**

**その他の事業**

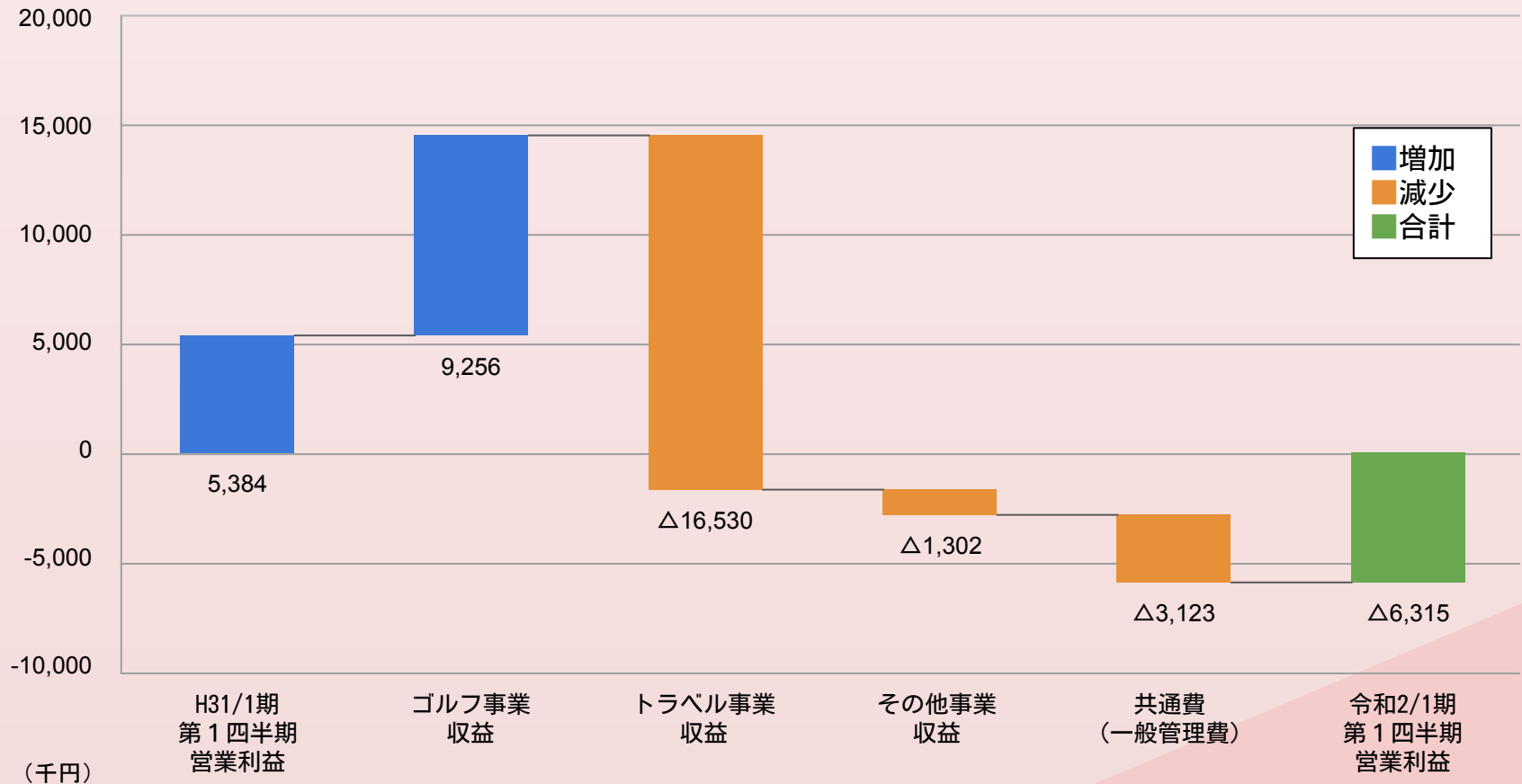
**売上**  
**1,718万円**

**営業損失**  
**183万円**

# 第1四半期総括－利益増減分析

トラベル事業の収益改善が課題に。

ゴルフ事業は引き続き堅調な成長ペースを維持しております。トラベル事業の収益性を改善することが、グループ全体の課題であると認識しております。



令和2年1月期

---

# 今後の取り組み

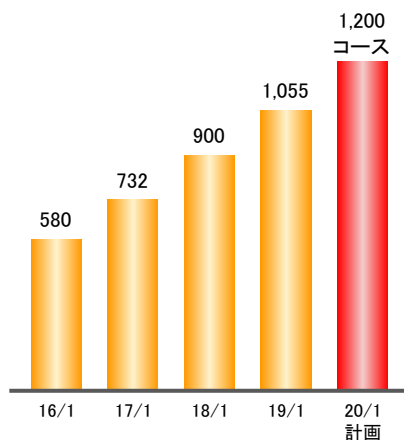
---

# 今後の取り組みーゴルフ事業

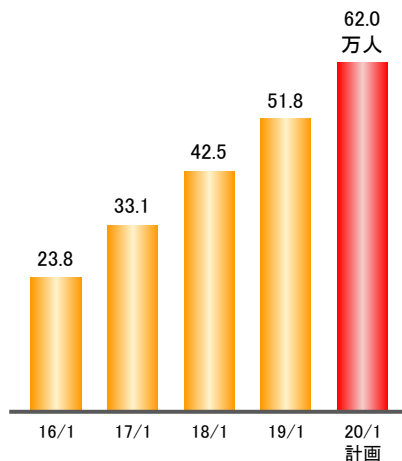
## 1. 1人予約ランドのさらなる成長促進

- 現在のゴルフ人口に対する1人予約登録会員数は約8%。成長の余地があるマーケットで会員数100万人、契約ゴルフ場数1,800コースを早期に達成
- 会員専用ゴルフ場でのプレー等、ゴルファーにとって魅力のあるプランの企画を継続して提供

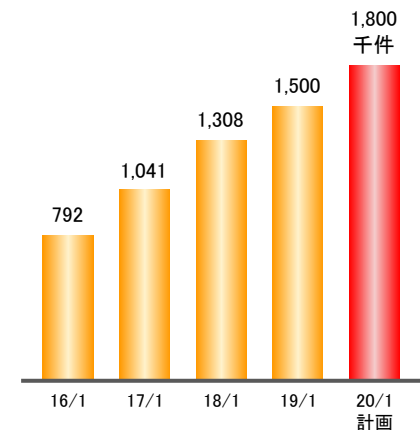
1人予約契約ゴルフ場数



1人予約登録会員数



1人予約年間エントリー数



# 今後の取り組みーゴルフ事業

## 2. ECサービスの利益率向上

- 日本未発売モデル等、付加価値のあるブランド取扱い
- 高利益率商品（OEM商品）のラインナップ増
- 売上は復調傾向。他サービスの状況を踏まえ、配送費の見直しへ



OEM商品の開発と  
販売

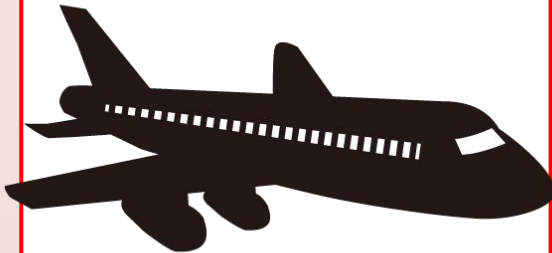


# 今後の取り組みートラベル事業

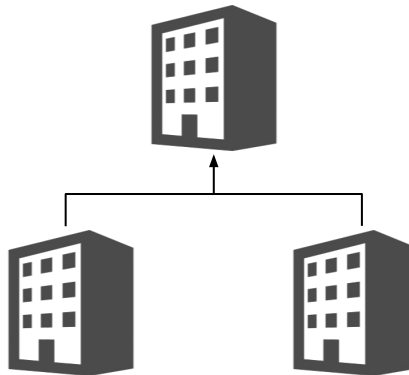
## 3. 引き続き構造改革の推進と収益性UP

- ・新商品の企画開発と主力商品である海外航空券の原価率見直し
- ・支店の統廃合、スリム化によるコスト削減、効率化
- ・ITシステム導入による各部門のワークフローを明確化  
(改善対象業務の可視化、改善ポイントの絞り込み、新業務フローの施行→収益性の高い事業構造への改革)

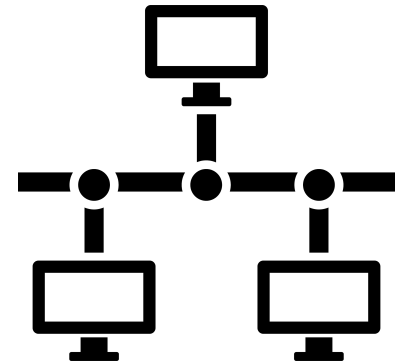
- ・新商品の企画開発
- ・主力商品の高利益化



- 支店統廃合による効率化



- ITシステム導入による構造改革





# 今後の取り組みーその他の事業

## 4. サプリメント販売促進

- 当社アセットを活用した販売チャネルの拡大  
(ゴルフ用品販売実店舗「JYPER'S」、各ゴルフ場ショップ等)
- ゴルファーに対象を絞りテスト販売した商品を、今後は全方位的なアプローチへと転換



### スタブルUC-II 5/15販売開始

アンチエイジング及びロコモティブ症候群(運動器機能不全)に着目し、同分野の第一人者であるドクター監修の下、ハーバード大学で開発された成分「UC-II」を40mg配合しました。



### サプリメント 開発監修

【サプリメント監修】  
・ハーバード大学  
医学部客員教授  
・パリ大学  
医学部客員教授

医学博士  
根来秀行 氏

令和2年1月期

---

# 通期連結業績予想

---

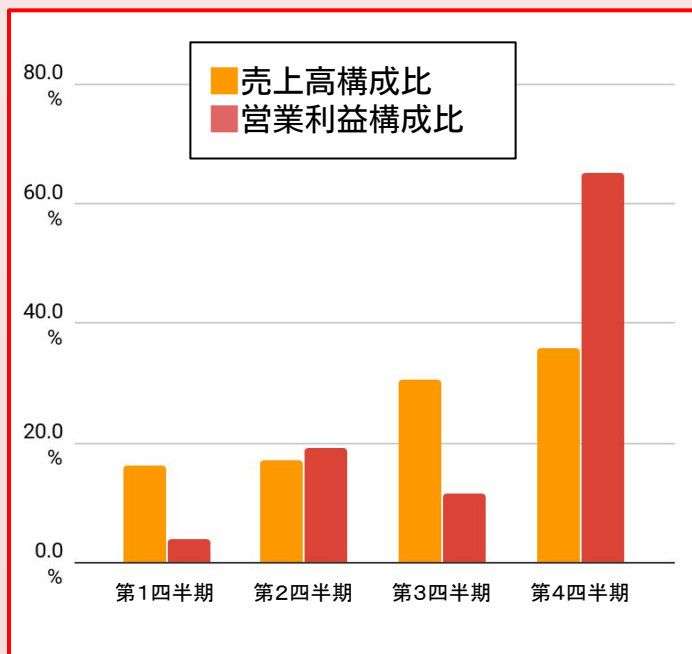
# 業績予想

当第1四半期は概ね計画通りに推移。通期業績予想は期初予想から変更ありません。

当社グループの売上高は、第4四半期にかけて偏重する季節的変動要因があります。当第1四半期は概ね計画通り推移しており、通期業績予想に変更はございません。

## 【参考情報】

### 平成31年1月期連結会計年度における四半期情報



平成31年 1月期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
売上高 (千円) (構成比)	740,702 (16.2%)	784,474 (17.1%)	1,408,258 (30.7%)	1,652,345 (36.0%)
営業利益 (千円) (構成比)	5,384 (4.0%)	26,012 (19.2%)	15,640 (11.6%)	88,370 (65.3%)

## 将来見通しに関する注意事項

### 本資料の取り扱いについて

本資料において記述される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文言は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでいます。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特にサービスに関連した見通し情報に存在します。リスク、不確実性には、当社の関連する業界動向、技術的進歩、その他内部・外部要因、サービスの安全性ならびにクレームや懸念、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、サービス開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。従いまして実際の業績が本資料に記載されている将来の見通しに関する記述等と異なるリスクや不確実性がありますことを、予めご了承下さい。





本資料の著作権は株式会社バリューゴルフにあります。本資料の内容の一部または全部における無断転載を固く禁じます。  
本資料に関するお問い合わせは 当社IRグループ ([ir-inquiry@valuegolf.co.jp](mailto:ir-inquiry@valuegolf.co.jp) / 03-6435-1535) までお願いします。



東証マザーズ上場

証券コード:3931